



56 坂崎出羽守供養塔

(白石482附近)



坂崎出羽守直盛は元の名を宇喜多詮家といい、備前藩主宇喜多直家の弟忠家の長子である。

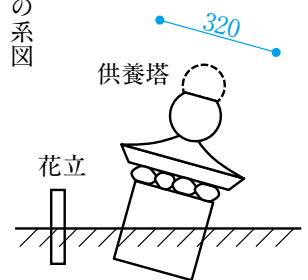
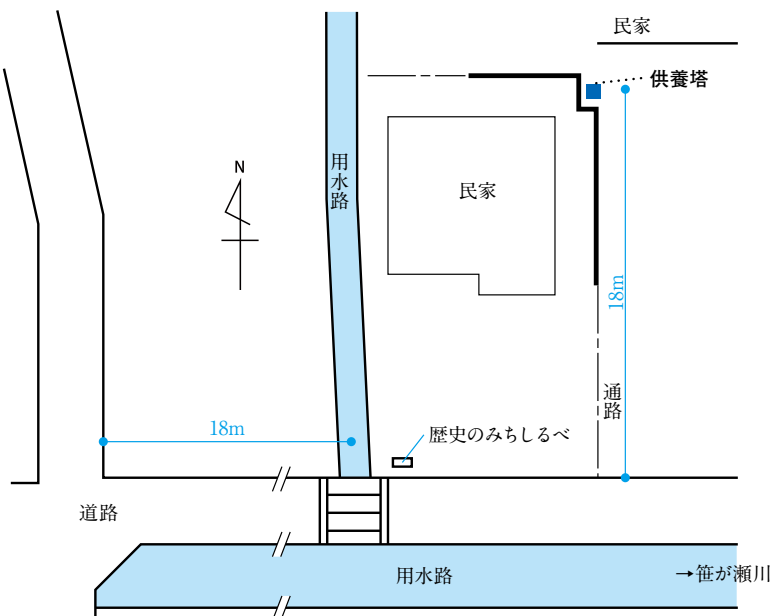
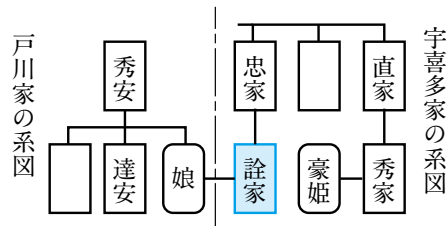
詮家は従兄の秀家に仕えて2万4千石の知行を取っていたが、秀家との折り合いが悪く、家康に敵対した秀家に対し、詮家は関ヶ原の戦いでは徳川方に与し、その功績により津和野3万石の領主となり、坂崎と改名した。

また詮家は、燃け落ちる大阪城から千姫を救い出したことで家康から信頼され、千姫の再嫁を約束されたが、その後、幕府と対立しお家断絶となって自害した。

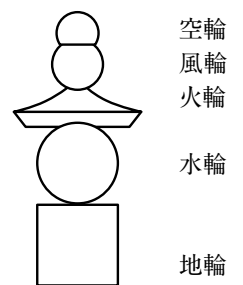
八坂山の富山城主(岡山市北区矢坂東町1-1)であったころ、領民からの信頼が厚く、その死後ここに供養塔を立て遺徳をしのいだ。墓所は島根県津和野町の永明寺にある。

岡山歴史のまちしるべ

令和6年3月、岡山市の「岡山歴史散歩」の看板が設置された。(幅350×高さ1430mm)



往時の水害で「水輪」を流失した。当時周辺を探したが見つからなかった。



供養塔の通常の形と名称